

学んだ知識を生かし パソコン教室で地域に貢献



紹介してくれた生徒



うつのみや
宇都宮 亜耶さん
3年生

たはらはるな
田原 春菜さん
3年生

最新設備で
パソコンの知識を学ぶ

嘉穂総合高校のITシステム科には、約160台ものパソコンが導入されている。写真加工ソフトなどの実用的なソフトウェアも多く導入されており、情報分野の学習に力を入れる嘉穂総合高校の特色が如実に表れている。

ITシステム科三年生の宇都宮亜耶さんと田原春菜さんは、この科を選んだ理由について「パソコンの知識を深めたかったから」と口を揃える。二人が所属するマルチメディア専攻では、写真加工ソフトを使った授業やネットワーク技術の知識を学ぶ授業など、直接パソコンに携わる仕事はもちろん、幅広い職種に生かせる知識と技術を日々学んでいる。



様々な工夫を凝らした
わかりやすいパソコン教室

ITシステム科では、授業で学んだパソコンの知識と技術を生かし、地域住民向けにパソコン教室を開催しており、企画から広報、実際の教室の指導まで、すべて生徒自らがやっている。

パソコン教室を実施する8人の生徒は、最初の企画会議で、まず何を作るかをみんな話し合った。「パソコン初心者でも作りやすく、実用的なものを考えました」と話す宇都宮さん。年賀状作りなどの候補が上がった中、最終的

にカレンダー作りを行うことに決めた。

「次に、どうしたら教えることができるかと伝わるかをみんなで考えました」と田原さんは話す。文字を大きく表示したキーボードの配列表やローマ字表を用意するなど様々な工夫と入念な準備を行った。

その甲斐があり、「パソコン教室中は、大きなトラブルも起きず、参加者の皆さんに『わかりやすい』と好評でした」と話す田原さん。「受講者から『ありがとう』と言われたときが一番嬉しかったです」と笑顔をこぼした。



ITシステム科
ふくだまさてる
福田 昌輝 教諭

嘉穂総合高校のITシステム科は、情報を専門的に学べる県内唯一の学科で、情報に関する知識と技術を身に付けることができます。

「システム専攻」では、システム設計やプログラミングに関する専門的学習を通して、ネットワーク管理者やシステムエンジニアとして活躍できる人材育成を目指しています。

「マルチメディア専攻」では、アプリケーションソフトを自在に活用できる能力を身に付け、CGクリエイターやWebデザイナーとして活躍できる人材育成を目指しています。